

授 業 科 目 名		地 域 看 護 学 概 論	単 位 認 定 者	梅 林 奎 子	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 ( コ マ 数 )		2 単 位 ( 3 0 コ マ )	必 修	講義室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	地域看護の概念	地域看護の概念、定義 地域保健と公衆衛生と総合保健医療 地域看護と公衆衛生看護(レポート課題提出) 公衆衛生の定義と公衆衛生看護		公衆衛生看護、継続看護、ヘルスケアチーム、職業倫理	
2 ~ 3	地域看護の発祥	外国における地域看護の発祥、ナイチンゲールと地域看護 日本における地域看護の発祥と保健師の誕生 保健師の身分の確立		諸外国の公衆衛生と地域看護の変遷、日本の公衆衛生と地域看護の変遷、日本の保健医療福祉制度における保健師(訪問看護師)の位置づけ	
4 ~ 6	地域看護活動の理念と活動	地域看護活動の理念、目的 地域看護活動と総合看護及び看護の継続性  保健医療分野における国際協力の概要  職業倫理 プライマリーヘルスケアと地域看護活動、公衆衛生看護活動 ヘルスプロモーションと地域看護活動、公衆衛生看護活動		公衆衛生活動の理念・目的、健康に関する認識の普及・啓発、自立的な生活への支援・強化、健康を志向する町づくり 国際連合と WHO 世界保健機関 の健康政策、国際協力と ODA 政府開発援助、国際機関、NGO、発展途上国 職業倫理 健康、生活、集団、地域社会、地域環境、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、パートナーシップ、ノーマライゼーション、アドボカシー、基本的人権の尊重・権利擁護、自立支援、自己決定、住民参加、男女共同社会、自治、制度・政策開発、リスクマネジメント	
7 ~ 10	地域看護の機能・役割 地域看護活動の原則と成立条件	保健師助産師看護師法の規定(保健師と保健指導)  地域看護の機能・役割 保健師活動の実践例(レポートとグループワーク) 地域看護活動の原則と成立条件		個別・集団の接近技法(ケースワーク、グループワーク)の各目的、特性、個別・集団指導の種類・特色、個別・集団指導と援助者の基本姿勢、対象選定と優先順位	
11	地域看護活動の対象の特性	対象のとらえかた 個人・家族・地域の特性 ライフサイクルと地域看護 健康レベルと地域看護		個人・家族、小集団、組織、機関、コミュニティ	
12	地域看護活動の場の特性	地域(保健所・市町村保健センター等) 事業所及び地域看護との連携 学校及び地域看護との連携 その他(病院、福祉施設、訪問看護ステーション等)		公衆衛生看護、継続看護、ヘルスケアチーム	
13 ~ 15	地域看護活動の方法とあり方	集団検診、健康教育、健康相談、家庭訪問 地区組織活動の実践例(松川町の例) GW 地区組織活動のまとめ ケアシステムづくりの実践例 保健師の活動のありかた 実践例から保健師の活動の独自性、専門性、姿勢等を考える		地域診断、計画策定・評価、地区活動、個別・集団の接近技法・技術、コーディネーション、地域支援システム構築、地域資源開発	

回	講義題目	教科内容	国家試験出題基準
16 ～ 17	災害時の公衆衛生看護活動	<p>災害の定義と災害看護の目的</p> <p>災害看護の制度とシステム</p> <p>災害予防対策期と保健師活動</p> <p>災害応急対策期と保健師活動</p> <p>災害復旧・復興対策期と保健師活動</p>	<p>災害の定義・分類, 災害看護の目的, 自然災害サイクルと災害医療・看護</p> <p>災害に関する法体系, 災害支援の制度とシステム, 災害支援に関する社会資源</p> <p>避難のための支援必要者・実態把握, 災害防止マニュアル, 災害訓練, 教育普及啓発(住民主体の防災対策への習慣づけ), 装備, 救援・支援ネットワーク構築</p> <p>初動体制, 救護班・避難所での活動, トリアージ(定義・原則・プロトコル)</p> <p>避難所・仮設住宅・在宅生活者への活動, PTSDへの対応, 職員の心身の健康管理, ボランティアへの活動支援</p>
18 ～ 27	保健師活動の歴史と展望	<p>戦前, 戦中, 戦後の活動の歴史</p> <p>母子, 成人, 老人の活動の歴史</p> <p>結核, 難病, 公害, 精神障害</p> <p>保健師の教育の歴史</p> <p>演習: 学生が希望のテーマで歴史から保健師活動の本質, 活動のあり方, 今後の展望について考える</p>	<p>諸外国の公衆衛生と地域看護の変遷, 日本の公衆衛生と地域看護の変遷, 日本の保健医療福祉制度における保健師(訪問看護師)の位置づけ, 在宅ケア・在宅看護の変遷, 社会背景</p>
28 ～ 30	公衆衛生看護管理	<p>地域看護管理のしくみ</p> <p>情報管理</p> <p>地域ケアの質と保証</p> <p>組織運営・管理</p> <p>人材育成</p> <p>予算管理</p>	<p>地域における保健活動・在宅ケアの方向づけ, サービスの提供体制の整備, 指導・監視, コミュニティの健康水準の向上への提言, 職員と住民の権利保障</p> <p>関連情報の収集, 情報ネットワークの構築, 情報管理の方法, 情報開示, マスコミ対策, 個人情報の保護</p> <p>サービス提供組織の診断, 地域における看護の継続性, 総合性の推進, 他職種・他機関との事例検討, 地域の特性をいかした社会資源の開発と管理</p> <p>組織目的, 各部門の役割, 指示系統の確認, 業務管理, 他部門との連携, 情報の共有, 協働</p> <p>人材育成方針の策定(組織内), 現任訓練, 教育研修の計画と評価</p> <p>保健事業と人材育成の予算編成, 目的, 効率・効果, 代替案の明確化, 主務者, 財務部門, 議会への説明</p>
	テキスト	<p>「最新保健学講座 1 地域看護学概論」金川克子編(メヂカルフレンド社)</p> <p>「最新保健学講座 2 地域看護学概論」平野かよ子編(メヂカルフレンド社)</p> <p>「最新保健学講座 5 地域看護活動論」金川克子編(メヂカルフレンド社)</p>	
	参考書	<p>「国民衛生の動向 2004」(財団法人厚生統計協会)</p> <p>「ナイチンゲール著作集 1・2巻」薄井坦子他訳(現代社)</p> <p>「いま改めて公衆衛生看護とは」嶋村幸代他訳(日本看護協会出版会)</p>	

授 業 科 目 名		地 域 看 護 学 概 論	単 位 認 定 者	矢 島 正 栄	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修	講義室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	地域保健活動の基本 1	地域保健活動の考え方、地域保健活動の目的 対象の捉え方 1		人口構成の変化、疾病構造の変化、科学技術の発展、経済・産業構造の変化、地域社会の構造の変化、グローバル化、健康課題に対する組織の理念、健康課題への対処行動 文化・価値観の多様化、生活構造、家族形態、労働形態、生活環境、社会病理  セルフケア行動、ウエルネス行動、学習行動、支援行動、求援行動、病気への対処行動、受療行動、遵守行動、健康課題に対する組織の理念、健康課題への対処行動  地区診断の概念、アセスメントの方法、日常的な保健師活動からの潜在・顕在ニーズの把握と分析、住民ニーズの把握と住民の意見聴取、既存の統計資料の分析と解釈、社会資源・関係機関の把握と分析、実態調査  情報分析と健康課題の提示、解決すべき健康問題の特定、優先順位の決定、目的・目標の明確化と合意形成  計画の根拠の明確化、活動内容・方法の選定と手順  保健師活動の必要量と稼働量、マンパワー・予算の確保  関係者との連絡・調整、事業の運営・モニタリング、計画変更などの調整 計画の達成状況の確認、評価、事業の効果測定、次年度への反映 公共政策と保健計画、都道府県および市町村の基本的な計画の位置づけ 法制度や条例に基づく保健計画の策定、新たな健康課題を解決する事業計画の策定、保健政策と医療・福祉・教育・労働・産業等の政策との連携、評価、計画策定への住民参加の促進、予算、予算編成と執行	
2	地域保健活動の基本 2	地域保健活動の対象、地域の健康問題の捉え方、健康問題の構造			
3	地域保健活動の基本 3	対象の捉え方 2 現代日本人の生活と健康問題			
4	地域保健活動の基本 4	対象の健康課題への対処行動			
5	地域保健活動の展開 1 地区把握	地区把握・問題発見の考え方と方法			
6	地域保健活動の展開 1 地区把握	"			
7	地域保健活動の展開 2 地区診断	地区診断の目的と方法			
8	地域保健活動の展開 3 活動方針・活動目標の設定	活動方針・活動目標の考え方と盛り込むべき内容、優先順位の考え方			
9	地域保健活動の展開 4 地域保健活動計画の立案	地域保健活動計画立案のプロセス			
10	地域保健活動の展開 4 地域保健活動計画の立案	必要量・稼働量の算定、予算化、地域保健活動計画と住民参加			
11	地域保健活動の展開 5 活動計画の実践と評価	地域保健活動のモニタリングと計画の修正、地域保健活動の評価の目的と考え方			
12	地域保健活動の展開 5 活動計画の実践と評価	地域保健活動の評価に用いる指標と評価方法			
13	保健計画と保健師の活動 1	保健計画とは			
14	保健計画と保健師の活動 2	保健計画の構成、保健計画の策定過程、保健計画を実現させるための条件・方法、保健計画の評価			
15	保健計画と保健師の活動 3	保健計画の策定・推進・評価における保健師の役割 施策化の考え方と保健師の役割			
テキスト		「最新保健学講座 2 地域看護学総論」平野かよ子編（メヂカルフレンド社）			
参考書					

授 業 科 目 名		在 宅 看 護 概 論	単 位 認 定 者	小 林 亜 由 美	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	在宅看護の理念と目的	在宅看護の理念と目的		ノーマライゼーション、アドボカシー、基本的人権の尊重・権利擁護、自立支援、自己決定、訪問看護制度と介護保険、高齢者保健の動向、高齢者の生活と保健指導、在宅要支援・要介護高齢者と家族への保健指導、要支援・要介護高齢者、痴呆高齢者、ターミナルケア、在宅ケア・在宅看護の理念と目的、在宅ケア・在宅看護活動の実態、在宅ケア・在宅看護の制度とシステム、地域ケアシステムの構築、ネットワークの形成と地域ケアコーディネーション、社会福祉の基本概念、地域福祉計画とコミュニティ、地域福祉権利擁護、成年後見制度、在宅ケアのためのマネジメント、対象者の疾病管理・憎悪防止、介護者への支援、介護の人的資源確保・開発、介護の物的資源確保・開発、在宅ケアのサービス活用・法的根拠、在宅看護管理、訪問看護ステーション管理、地域ケアシステムづくり、在宅看護の質評価・管理、介護保険制度、法体系、市町村の役割、居宅サービス事業者、居宅介護支援事業者とケアマネジメント  地域内の関係機関の種類と役割、ボランティア、NPO、訪問看護制度、保険診療制度のしくみ、保健医療福祉の連携と提供サービスの統合、地域ケアコーディネーションと地域支援	
2	在宅看護の対象	在宅看護の対象者			
3	在宅療養者のアドボカシー	療養者のアドボカシー			
4	在宅看護に関わる現状	在宅看護に関わる現状			
5	在宅療養者の地域支援体制 1	在宅ケアに関わる関係機関・関係職種と保健サービス			
6	在宅療養者の地域支援体制 2	在宅ケアマネジメントの理念・目的・方法			
7	在宅療養者の地域支援体制 3	ケアチームのあり方、チーム形成の方法、ケアチームにおける保健師の役割			
8	在宅療養者の地域支援体制 4	在宅ケアシステムのあり方、在宅ケアシステムの構築に関わる保健師の役割			
9	在宅療養者の地域支援体制 5	在宅ケアシステムの評価、新たな社会資源や制度の開拓			
10	介護保険制度の概要 1	介護保険 1			
11	介護保険制度の概要 2	介護保険 2			
12	介護保険制度の概要 3	介護保険制度に関わる看護職の役割			
13	在宅ターミナルケア	在宅ターミナルケアの動向、在宅ターミナルケアに関わる看護職の役割			
14	在宅療養者の地域支援体制 6	在宅ターミナルケアのあり方、在宅ターミナルケアを支える地域支援体制の実践例			
テキスト		「最新保健学講座 4 地域看護活動論」金川克子編（メヂカルフレンド社） 「最新保健学講座 5 地域看護活動論」金川克子編（メヂカルフレンド社） 「国民衛生の動向 2004」（財団法人厚生統計協会） 「国民の福祉の動向 2004」（財団法人厚生統計協会）			
参考書					

授 業 科 目 名		地 域 看 護 活 動 論	単 位 認 定 者	矢 島 正 栄	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 ( コ マ 数 )		2 単 位 ( 3 0 コ マ )	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	健康相談 1	健康相談の意義と目的		各発達段階における健康レベル別個人・家族及び小集団の健康課題と必要な接近技術・方法 各発達段階における健康レベル別各種保健サービスの特性・活用、地域の健康特性と各種保健サービスの適用・優先順位	
2	健康相談 2	健康相談の対象		健康相談の目的、特性、対象、種類と特性	
3	健康相談 3	健康相談の技術		相談場面の設営・面接技術	
4	健康相談 4	健康相談の実施方法		地域の健康特性と健康相談事業の立案、参加対象と参加動機、実施準備・実践・評価、事後フォローアップ、参加対象への自立支援・組織化	
5	家族保健指導 1	家族の発達課題、家族の持つ保健機能		家族の発達段階と課題、家族関係と問題、アセスメント、家族援助、評価、セルフケア行動、ウエルネス行動、学習行動、支援行動、求援行動、病気への対処行動、受療行動、遵守行動	
6	家族保健指導 2	家族の問題把握と診断、家族支援			
7	家庭訪問 1	家庭訪問の意義と目的、家庭訪問の対象		家庭訪問の目的、特性、対象特性、	
8	家庭訪問 2	家庭訪問計画の作成、訪問準備、訪問目的の伝え方		初回・継続・拒否等への訪問技術、情報収集と問題把握、対象選定と優先順位、訪問指導計画、	
9	家庭訪問 3	家庭訪問における観察・情報収集、看護技術援助、保健指導		訪問準備・実践・評価、関係機関・職種との連携、社会資源の活用	
10	家庭訪問 4	"		訪問記録、報告	
11	家庭訪問 5	家庭訪問の事後処理、訪問記録の意義と作成方法			
12	健康診査	健康診査の意義・目的・対象、集団検診事業展開の方法と保健師の役割		健康診査の目的、特性、対象、種類と特性、スクリーニング基準、精度管理、健康診査場面の設営、地域の特性と健康診査事業の立案、参加対象と参加動機、実施準備・実践・評価、事後フォローアップ、参加対象への自立支援・組織化	

回	講義題目	教科内容	国家試験出題基準
13	地区組織活動 1	地区組織活動の意義と目的	グループの種類と機能、発展過程、グループダイナミクスの理論、グループ支援における保健師の役割、主体性の確立、自己洞察の深まり、エンパワメント、グループの育成と組織化支援、セルフヘルプグループの特徴と支援方法、健康学習を促進する媒体、人的つながり、組織の育成・支援、地域住民の自助、互助および共同活動の把握と推進、専門職、行政職、他の住民組織等との連携、グループ間での情報共有とネットワーキング、共同事業・共同活動の発展と支援、民間、NPO 支援
14	地区組織活動 2	地域住民の自助と互助、地区組織・専門職・自治体の連携、社会資源の活用	
15	地区組織活動 3	地区組織の育成・運営に関わる保健師活動のあり方	
16	健康教育 1	健康教育の理念と目的、患者教育の考え方	個別・集団の接近技法の各目的・特性、個別・集団指導の種類・特色、個別・集団指導と援助者の基本姿勢、健康教育に用いる基礎理論 健康教育の目的、特性、対象、種類と特性、対象選定と優先順位 地域のニーズ把握・アセスメント、事業の立案、参加対象と参加勧奨、指導案づくり・媒体の工夫、実施準備・実践 健康教育の評価、事後フォローアップ、参加対象への自立支援・組織化
17	健康教育 2	健康教育と保健行動、健康教育の理論	
18	健康教育 3	健康教育の対象・方法	
19	健康教育 4	健康教育活動の展開過程	
20	健康教育 5	健康教育計画と指導案 1	
21	健康教育 6	健康教育計画と指導案 2	
22	健康教育 7	健康教育の評価	
23 ～ 30	演習 健康教育演習	<p>1. 目的 地域の人々を対象とする集団教育の展開方法と、教育的働きかけのあり方を学ぶ。</p> <p>2. 実施方法 1)対象:高山村老人会、婦人会、若妻会等 2)内容:対象の要望に応じてテーマを設定し、健康教育の計画・実施・評価を行う。 3)実施期間:平成 16 年 11 月</p>	
テキスト		<p>「最新保健学講座 2 地域看護学総論」平野かよ子編（メヂカルフレンド社）</p> <p>「最新保健学講座 3 地域看護支援技術」村嶋幸代編（メヂカルフレンド社）</p>	
参考書			

授 業 科 目 名		地 域 看 護 活 動 論	単 位 認 定 者	矢 島 正 栄	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修	講義室	302 講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1 ~ 13	演習 地区診断と地域保健 活動計画作成演習	<p>1. 目的 地域住民のヘルスニーズの把握方法と、ヘルスニーズに対応させた地域保健活動の展開方法を理解する。</p> <p>2. 方法 1)対象地域:高山村 2)内容:対象地域の地区把握・地区診断・健康問題の分析・地域保健活動計画の作成・地域保健活動評価計画の作成 3)実施方法:4~5 グループに分かれて母子、成人等の1分野を担当し、グループワークを基本として行う。</p>		<p>地区診断の概念、アセスメントの方法、日常的な保健師活動からの潜在、顕在ニーズの把握と分析、住民ニーズの把握と住民の意見聴取、既存の統計資料の分析と解釈、社会資源・関係機関の把握と分析、実態調査 情報分析と健康課題の提示、解決すべき健康問題の特定、優先順位の決定、目的・目標の明確化と合意形成、計画の根拠の明確化、活動内容・方法の選定と手順、保健師活動の必要量と稼働量、関係者との連絡・調整、評価</p>	
14 ~ 15	地域保健活動計画報告・検討会	<p>各グループが作成した地区活動計画を発表し、その内容について全体討議を行う。 助言者:高山村保健センター保健師 地域看護学専攻科教員</p>		<p>事業の効果測定</p>	
テキスト		「最新保健学講座2 地域看護学総論」平野かよ子編(メヂカルフレンド社)			
参考書					

授 業 科 目 名		在 宅 看 護 活 動 論	単 位 認 定 者	小 林 亜 由 美	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	高齢者の在宅看護 1	寝たきり老人の在宅看護		高齢者の生活と保健指導、高齢者の特徴、健康問題アセスメント、保健指導、在宅要支援・要介護高齢者と家族への保健指導、要支援・要介護高齢者、痴呆高齢者、在宅ケアのためのマネジメント対象者の疾患管理・憎悪防止、介護者への支援、歯周疾患、口腔機能低下、誤嚥性肺炎	
2	高齢者の在宅看護 2	痴呆性老人の在宅看護			
3	在宅看護技術 1	口腔ケア 移動 リハビリテーション 清拭 洗髪 在宅看護のフィジカルアセスメント			
4	在宅看護技術 2				
5	在宅看護技術 3				
6	在宅看護技術 4				
7	在宅看護技術 5				
8	在宅看護技術 6				
9	在宅看護技術 7				
10	在宅看護技術 8				
11	特殊な処置・管理を要する在宅患者の看護 1	在宅酸素療法(吸引)を行う患者の管理と支援			
12	特殊な処置・管理を要する在宅患者の看護 2	褥創の予防とケア			
13	特殊な処置・管理を要する在宅患者の看護 3	経管栄養法、静脈中心動脈栄養法を行う患者の管理と支援			
14	特殊な処置・管理を要する在宅患者の看護 4	CAPD を行う患者の管理と支援			
テキスト		「最新保健学講座 4 地域看護活動論」金川克子編(メヂカルフレンド社) 「最新保健学講座 5 地域看護活動論」金川克子編(メヂカルフレンド社) 「国民衛生の動向 2004」(財団法人厚生統計協会) 「国民の福祉の動向 2004」(財団法人厚生統計協会) 「自立支援のための患者ケア技術」初山泰弘、潮見泰蔵、斎藤昭彦(医学書院)			
参考書					



授 業 科 目 名		母 子 保 健 活 動 論	単 位 認 定 者	矢 島 正 栄	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修	講義室	302 講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	母子保健の理念	母子保健の理念と目的、わが国の母子保健活動の歴史的変遷		母子保健の理念・歴史的変遷	
2	母子保健の現状 1	わが国の母子保健の水準		母子保健施策と保健師活動、すこやか親子 21、歯科保健統計、歯科保健施策	
3	母子保健の現状 2	我が国の母子保健活動の概要、すこやか親子 21			
4	母子の健康に関わる要因	ライフサイクルからみた母子保健、母子の健康に影響を与える要因		地域・集団の母子健康問題、優先順位	
5	若い家族の健康生活と保健指導の基本	若い家族の健康生活と保健指導、遺伝相談		(各発達段階における健康レベル別各種保健サービスの特徴・活用、各発達段階における健康レベル別個人・家族及び小集団の健康課題と必要な接近技法・技術、各発達段階における健康レベル別個人・家族に必要な保健サービス・・・5回～12回)	
6	妊産褥婦の健康生活と保健指導の基本 1	妊娠・分娩・産褥期の健康生活と保健指導、勤労女性の母性保護		妊産褥期の母性の生活と保健指導、家族計画	
7	妊産褥婦の健康生活と保健指導の基本 2	遺伝相談、妊産褥婦を対象とする保健サービス			
8	乳幼児期の健康生活と保健指導の基本 1	新生時期の成長発達・健康・生活と保健指導、新生児期を対象とする保健サービス		乳幼児の発達、生活・しつけ、保健指導、乳幼児の健康問題アセスメント、保健指導、予防接種、予防接種法、歯科保健、育児期の母性の生活と保健指導	
9	乳幼児期の健康生活と保健指導の基本 2	乳児期の成長発達・健康・生活と保健指導、乳児期を対象とする保健サービス			
10	乳幼児期の健康生活と保健指導の基本 3	幼児期の成長発達・健康・生活と保健指導、幼児期を対象とする保健サービス			
11	乳幼児期の健康生活と保健指導の基本 4	乳幼児健康診査の実際と保健師の役割			
12	学童期の健康生活と保健指導の基本	学童期・思春期の成長発達・健康・生活と保健指導(性教育については職域保健活動論で扱う)		思春期の母性の生活と保健指導	
13	ハイリスク母子の保健指導 1	未熟児、多胎、心身障害児、小児慢性特定疾患患児の保健指導		心身障害児の保健指導、障害児保健の理念・歴史的変遷、障害児保健施策と保健師活動、地域・集団の障害児の健康問題、障害児の捉え方、健康問題アセスメント・保健指導、障害の予防、地域のサポートシステム・社会資源	
14	ハイリスク母子の保健指導 2	育児環境や育児方法に問題がある母子・ハイリスクな母親の保健指導		子どもの虐待、女性への暴力、外国人母子の健康問題と支援、地域のサポートシステム・社会資源 地域ケアシステム・組織の概念、地域ケアシステムの発達過程、共通認識の形成と目標設定、地域ケアシステムにおける個人と組織の役割、機能、仲間づくりと関係者のネットワーク、住民とのパートナーシップ、住民・関係者とのチームワーク・共同活動、関係機関、関係職種との連携、連絡会議の企画・運営	
15	更年期の保健指導 働く女性の母性保護	更年期の保健指導、働く女性の母性保護		更年期の母性の生活と保健指導、就労女性の保健指導	
テキスト		「最新保健学講座4 地域看護活動論」金川克子編(メヂカルフレンド社) 「国民衛生の動向 2004」(財団法人厚生統計協会) 「国民の福祉の動向 2004」(財団法人厚生統計協会)			
参考書					

授 業 科 目 名		成人・高齢者保健活動論	単 位 認 定 者	小 林 亜 由 美	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 ( コ マ 数 )		2 単 位 ( 3 0 コ マ )	必 修	講義室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	成人高齢者保健施策 1	成人・高齢者保健の動向 老人保健法 保健事業計画 健康作り対策の変遷 健康増進法 医療保障制度 生活習慣病対策 高脂血症の保健指導 糖尿病の保健指導 高血圧の保健指導 骨粗鬆症の保健指導 貧血の保健指導 たばこ・アルコールの指導 がんの知識と予防 歯科保健指導		発達段階別、健康レベル別に必要な保健サービス、発達段階別、健康レベル別の各種保健サービスの活用、保健指導、健康相談、健康教育、成人保健の動向、成人期の生活と保健指導、高齢者保健の動向、高齢者の生活と保健指導、成人病対策と集団検診、国民健康づくり対策の展開、生活習慣病予防の概念、老人医療と高齢者保健福祉戦略、健康増進法と健康日本21、老人保健福祉計画、健康日本21と地方計画、心疾患の疫学、脳血管疾患の疫学、がんの疫学、糖尿病の疫学、歯科保健の動向、生涯を通じた歯科保健、歯科保健に関連する歯科疾患、難病保健の理念、歴史的変遷、難病保健施策と保健師活動、地域の難病患者の健康問題、優先順位、難病患者と家族の特徴、健康問題アセスメント、保健指導、在宅療養難病患者と家族への保健指導、地域のサポートシステム、社会資源、難病対策のはじまり、感染症保健活動の理念、歴史的変遷、感染症に関する保健統計、疫学、病体、臨床、感染症予防活動、保健師の役割、感染症発生時の保健師活動、保健師の役割、感染症集団発生と保健師活動、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(1.2.3.4 類、指定感染症、新感染症)、食中毒、結核、HIV 感染症/AIDS、性感染症、新興・再興感染症、肝炎(A 型、B 型、C 型)、腸管出血性大腸菌感染症、新しい感染症対策、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、結核予防法、検疫法、食品衛生法、ノーマライゼーション、アドボカシー、障害者(児)保健の動向、障害者(児)の自立支援と人権擁護、障害者基本法	
2	成人高齢者保健施策 2				
3	成人高齢者保健施策 3				
4	成人高齢者保健施策 4				
5	成人高齢者保健施策 5				
6	成人保健指導 1				
7	成人保健指導 2				
8	成人保健指導 3				
9	成人保健指導 4				
10	成人保健指導 5				
11	成人保健指導 6				
12	成人保健指導 7				
13	成人保健指導 8				
14	成人保健指導 9				
15	難病保健指導 1	夏季休暇中に個別保健指導の演習 難病の概念と動向 難病患者の保健指導 1 難病患者の保健指導 2 難病患者の保健指導 3 感染症対策のあゆみ、感染症新法 結核対策 結核の予防と管理 結核の保健指導 HIV 感染症/AIDS 対策、性感染症対策 肝炎対策・保健指導 腸管出血性大腸炎(O157 等)、食中毒対策 障害者(児)保健指導 1 障害者(児)保健指導 2 障害者(児)保健指導 3			
16	難病保健指導 2				
17	難病保健指導 3				
18	難病保健指導 4				
19	感染症保健指導 1				
20	感染症保健指導 2				
21	感染症保健指導 3				
22	感染症保健指導 4				
23	感染症保健指導 5				
24	感染症保健指導 6				
25	感染症保健指導 7				
26	障害者(児)保健指導 1				
27	障害者(児)保健指導 2				
28	障害者(児)保健指導 3				
テキスト		「最新保健学講座 4 地域看護活動論」金川克子編(メヂカルフレンド社) 「最新保健学講座 5 地域看護活動論」金川克子編(メヂカルフレンド社) 「国民衛生の動向 2004」(財団法人厚生統計協会) 「国民の福祉の動向 2004」(財団法人厚生統計協会)			
参考書					

授 業 科 目 名		地域精神保健福祉活動論	単 位 認 定 者	矢 島 正 栄	
対 象 学 生		地域看護学専攻科	学 期	前 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修	講義室	302 講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	精神保健福祉概論 1	健康の定義、健康と不健康、心身相関		精神保健の理念	
2	精神保健福祉概論 2	発達心理学、社会心理学の基本			
3	精神保健福祉概論 3	医療福祉制度における精神保健の歴史と現状		歴史的変遷	
4	精神保健福祉概論 4	地域保健行政における精神保健の仕組みと動向 心の健康づくり		精神保健施策と保健師活動、地域・集団の精神保健、優先順位、精神障害者の社会復帰	
5	精神保健疾病概論	精神保健活動の対象となる疾病の発生過程と予防、社会復帰			
6					
7	精神保健援助技術	精神障害者の生活の捉え方		精神障害者の生活のとらえ方、発症に関与する疾病の発生過程、予防、社会復帰へのはたらきかけ、精神保健活動、地域のサポートシステム、社会資源	
8					
9					
10	社会病理を背景とする疾病と保健指導 1	薬物乱用、アルコール依存		薬物乱用、アルコール依存	
11	社会病理を背景とする疾病と保健指導 2	自殺、家庭内暴力		自殺、家庭内暴力	
12	地域精神保健活動	地域精神保健活動における地域ケアシステムづくりと看護職の活動の実際		地域ケアシステム、組織の概念、地域ケアシステムの発展過程、共通認識の形成と目標の設定、地域ケアシステムにおける個人と組織の役割、機能、仲間づくりと関係者のネットワーク、住民とのパートナーシップ、住民、関係者とのチームワーク、共同活動、関係機関、関係職種との連携、連携会議の企画運営	
13				各発達段階における健康レベル別個人・家族および小集団の健康課題と必要な接近技法・技術、各発達段階における健康レベル別個人・家族に必要な保健サービス、各発達段階における健康レベル別各種保健サービスの特性・活用、地域の健康特性と各種保健サービスの適用・優先順位	
14					
15					
テキスト		「最新保健学講座 5 地域看護活動論」金川克子編（メヂカルフレンド社）			
参考書					

授 業 科 目 名		職 域 保 健 活 動 論	単 位 認 定 者	中 下 富 子	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	【産業保健】 産業保健の意義と活動	産業保健の目的・対象 産業保健の動向		産業保健・看護の定義、保健師の役割・機能、産業保健・看護の変遷、社会背景、保健師の職務、地域保健との連携	
2	労働衛生法規と労働衛生行政	労働衛生の歴史・法律の変遷 主な法令、安全衛生法、じん肺法、労働基準法 業務上の疾病の範囲 労災保険		労働安全衛生に関する法体系、産業保健・看護と社会資源	
3	作業管理	粉塵作業、有機溶剤作業、VDT 作業、腰痛対策、騒音対策、保護具		職場の安全管理、作業関連疾患の種類、予防対策、	
4	作業環境管理	作業環境管理の基本		職業関連疾患の種類、予防対策	
5	職業病・作業関連疾患	化学的要因によるもの、物理的要因によるもの			
6	健康管理	健康管理とそのすすめ方、職場における健康診断の概要、一般健康診断、特殊健康診断、THP 活動 オフィス労働の健康管理、労働時間と健康管理、中高年の健康管理、女子・年少労働者の健康管理、外国人労働者の健康管理、海外労働者の健康管理		産業保健組織と人材、産業保健計画と評価、個別的・集团的・組織的展開方法	
7	産業精神保健	職場のメンタルヘルス		職場のメンタルヘルスクエア、ストレス対策	
8	職場見学 産業保健師の役割・業務・活動の実際	総合的な管理と業務調整 企業内における保健師活動とその実際 今後の課題、産業保健師に求められる資質		保健師の職務、産業保健・看護活動の実態	
1	【学校保健】 学校保健とは	学校保健の考え方と構造 教育に果たす養護教諭の役割 学校における健康教育		学童期の特質と健康課題 養護教諭の職務 健康教育	
2	学校保健計画 学校保健組織活動	健康実態の把握と課題、学校保健計画の基本と内容 学校保健組織 学校保健委員会とその進め方		保健計画 学校保健の組織体制	
3	保健室の機能と運営	保健室の機能、保健室経営案		健康診断	
4	健康診断	健康診断の目的と展開		健康管理と疾病管理	
5	健康観察	健康観察の方法			
6	疾病の予防と管理	伝染病予防と管理の実際		救急処置	
7	救急処置活動	救急処置の進め方の基本、救急体制			
8	学校環境衛生	学校環境衛生の基準と進め方		保健教育	
	健康相談活動	健康相談活動の基本とその進め方		学校保健の現状と課題	
	保健教育活動	保健学習・保健指導の基本と実際			
	障害児教育	特殊支援学校(盲・聾・養護学校)における養護教諭の役割			
	これからの養護教諭	養護教諭に必要な能力とこれからの養護教諭			
テキスト		「最新保健学講座5 地域看護活動論」金川克子編(メヂカルフレンド社) 「産業保健マニュアル」和田攻(南山堂) 「国民衛生の動向2004」(財団法人厚生統計協会) 「働く人の健康づくり」労働衛生課監修(厚生労働省労働基準局) 「改訂 養護概説」三木とみ子(ぎょうせい) 「学校保健マニュアル」高石昌弘(南山堂)			
参考書					

授 業 科 目 名		国 際 保 健 活 動 論	単 位 認 定 者	矢 嶋 和 江	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
記 入 不 要		1 単 位 ( 8 コ マ )	選 択	講 義 室	302 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1 2	国際協力とは	国際協力の考え方の変遷 国際援助機関とその役割 WHOの役割と保健政策 開発途上国の援助ニーズ 国際機関やNGOの役割などについて概説する。 日本の国際協力の流れ 日本が受けてきた援助 ODAの基本理念		国際連合とWHOの保健政策 国際機関,NGO,開発途上国 国際協力とODA	
3	看護の国際協力	国際看護の考え方 看護職の国際協力の流れ 第二次世界戦争前・戦争後の活動			
4 5	開発途上国の健康問題	健康問題の格差 生活と環境 貧困と健康 栄養と感染症 母子保健とジェンダー リプロダクティブヘルスの視点から母子保健の現状を理解する。 伝統的医療・民族としての慣習			
6 7 8	国際協力に求められるもの 協力活動の実践例	国際協力のイメージ 求められる能力は何か 青年海外協力隊保健師隊員の活動例(VTR) 途上国の保健問題について、問題の派生する要因、その対策、今後の課題などについて考える。			
テキスト		「国際看護学入門」 国際看護研究会編 (医学書院)			
参考書					

授 業 科 目 名		カ ウ ン セ リ ン グ	単 位 認 定 者	北 川 公 路			
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期			
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 8 コ マ )	選 択	講 義 室	302 講 義 室		
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準			
1 ~ 2	患者とのコミュニケーション	医療者と患者のコミュニケーション 患者の訴え方：その聴き方と応え方 患者と家族への援助 患者間の関係 ピアカウンセリング		各発達段階における健康 レベル別個人・家族および小集団の健康課題と必要な接近技法・技術 相談・健康診査場面の面接技術			
3 ~ 5	カウンセリングとは何か	カウンセリングの特徴 カウンセラーの役割					
6	カウンセリングの理論と方法	クライアント中心療法 行動カウンセリング 認知行動カウンセリング 精神分析的アプローチ					
7	カウンセリングと心理テスト	カウンセリングにおける心理テストの意義と役割 心理テストの種類 質問紙による人間理解					
8	事例研究	看護の面接事例 ロールプレイ、紙上応答訓練など実習をまじえて行う					
テキスト							
参考書							

授 業 科 目 名		運 動 療 法 論	単 位 認 定 者	近 藤 照 彦	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	後 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 8 コ マ )	選 択	講義室	基礎医学実験室 理学棟実験室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	運動療法論および運動処方概説	ガイダンス		成人保健施策，健康日本21、成人各期の特徴，健康問題アセスメント，保健指導  おもな健康指標 一次予防と二次予防，三次予防	
2	体組織（身体計測、体脂肪測定）筋力および筋パワーの測定	測定			
3	運動負荷試験	測定			
4	統計処理法	グループワーク			
5	”	”			
6	”	データ処理 筋力、体組織および体力それぞれの測定値から対象学生全体および個人の健康度を検討する。 健康関連指標とライフスタイルの関連性を検討する。 肥満関連の最近の話題について論議する。 * 脂肪組織由来内分泌因子（アディポサイトカイン） レプチン測定結果の報告			
7	レポートのまとめ方	PCを用いてのレポート作成			
8	総括	運動療法論の総括			
テキスト		「運動学実習マニュアル」理学療法科学学会（アイベック）			
参考書					

授 業 科 目 名		歯 科 保 健 論	単 位 認 定 者	浅 見 知 市 郎	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 8 コ マ )	選 択	講義室	302 講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	概説	歯科についての基本的知識		う蝕、歯周疾患、口腔機能低下、誤嚥性肺炎 歯科保健統計、歯科保健施策、8020 運動 各発達段階における健康レベル別歯科保健サービス、障害者(児)、難病等の歯科保健サービス	
2	地域歯科保健	地域歯科保健の基本的理念 8020 運動 健康日本 21 在宅歯科診療 保健所における歯科保健			
3	母子歯科保健	周産期における歯科保健			
4		乳幼児期における歯科保健 乳幼児健診			
5	学校歯科保健	学校における歯科保健活動			
6		学校歯科検診			
7	成人、老人歯科保健	成人歯科保険事業 節目検診			
8		要介護者歯科保健			
テキスト					
参考書					



授 業 科 目 名		英 語	単 位 認 定 者	ク ラ ー ク ・ マ レ ン	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 1 5 コ マ )	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	概要説明	国際化の中で日本の医療看護関係の専門職者が海外で貢献する機会は増加している。実際の医療看護関係の英字、論文、出版物等を教材として使い、より幅広い専門分野の単語、熟語、文章力を習得し、国際的レベルの情報選択能力及びコミュニケーション力を習得する。			
2	英語力テスト				
3	医学看護文献				
4	単語、熟語				
5	文章読解				
6	医療看護文献				
7	単語、熟語				
8	文章読解				
9	医療看護文献				
10	単語、熟語				
11	文章読解				
12	総合コミュニケーション方法				
13	総合コミュニケーション方法				
14	試験				
15	講評				
テキスト		「クリスティーンのレベルアップ看護英会話」知念クリスティーン 迫和子 (医学書院) 「C&M 2 and 3」Clark L.Mullen Masako S.Mullen (孔文社印刷)			
参考書					

授 業 科 目 名		英 語	単 位 認 定 者	ク ラ ー ク ・ マ レ ン	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	前 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位 ( 1 5 コ マ )	選 択	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	概要説明	国際的医療看護の現場での文化的摩擦を回避し、その要求に迅速かつ的確に対応できる知識と英語のコミュニケーション力を習得する。			
2	英語力テスト				
3	比較文化研究と英語				
~	による異文化コミュニ				
13	ケーション学習				
14	試験				
15	試験				
テキスト		「English for Manners and Hospitality」古関博美他（Yumi Press） 「culture and communication」Lisa Stefani、白野伊津夫（Yumi Press）			
参考書		VTR、英字新聞、英語文献を使用			

授 業 科 目 名		疫 学	単 位 認 定 者	王 娜 仁	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 ( コ マ 数 )		2 単 位 ( 3 0 コ マ )	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	健康の定義	健康とその成り立ち			
2	疫学とは	疫学の対象、方法、目的、成果(歴史)と課題(将来)			
3		医学における原因、複数の原因と因果			
4	原因の概念 -	原因種類、分類、遺伝にかかるか環境にあるか、その原因の考え方の立場による違い、及び原因についての疫学判断			
5	原因とは何か				
6	疾病の定義				
7	疾病頻度の尺度				
8					
9	疾病頻度の比較、	罹患率(Incidence, Incidence rate)			
10	暴露効果の測定	死亡率(Mortality rate)、致命率(Case fatality rate)、有病率(Prevalence)、率と割合			
11	疫学の方法	絶対効果、相対効果、寄与割合、率比、相対危険度及びオッズ比など			
12		記述疫学と分析疫学、コホート研究の原理			
13		患者対照研究の原理、患者対照研究の原則			
14		患者対照研究の利点と欠点、患者対照研究の特徴			
15	感染症の疫学	後向きコホート研究、介入研究			
16		感染症成立の要因、流行現象			
17		感染症の予防、感染症関連法規の概要			
18	研究遂行の原則	仮説の設定			
19		交絡因子の確認			
20	誤差と偏り	罹患(疾病)の確認方法			
21		誤差とは何か、標本誤差など、交絡、誤分類			
22	率の標準化、	交絡の調整			
23	年齢調整	標準化、年齢調整死亡率の計算方法、直接法、間接法の特徴など			
24	標本の抽出とその	疫学調査における標本抽出の考え方			
25	大きさ	標本の大きさの決定要因			
26	生活習慣と健康	国民栄養の現状、飲酒・喫煙習慣			
27	生活習慣病の疫学	悪性新生物の疫学、循環器疾患の疫学			
28					
29	疫学演習と復習				
30	試験				
テキスト		「保健統計・疫学」福富 和夫 橋本 修二(南山堂)			
参考書					

授 業 科 目 名		保 健 統 計	単 位 認 定 者	王 娜 仁	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 ( コ マ 数 )		2 単 位 ( 3 0 コ マ )	必 修	講義室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1	保健活動と統計データの性質	看護、保健活動の中で統計を活用する意義について 質的データと量的データ、尺度水準		おもな健康指標、人口ピラミッド、年少人口指数、老年人口指数、老年化指数、死亡と生命表、出生と人口再生産、婚姻と離婚	
2	母集団と標本	母集団と標本の概念、疫学的調査方法、質問紙による調査		母集団と標本、無作為抽出、	
3	一変数の整理(1)	度数分布、代表値と散布度		正規分布、検定・推定に用いる分布、度数分布、ヒストグラムと他のグラフ表示、相関図(散布図)と回帰直線	
4	一変数の整理(2)	代表値と散布度・演習		平均値と他の代表値、四分位数とパーセンタイル、データの範囲、分散と標準偏差	
5	標本分布	平均値の分布と中心極限定理			
6	母数の推定	点推定、区間推定、母平均の推定、母比率の推定		点推定と区間推定、帰無仮説と統計学的有意性、母割合に関する推定と検定、母平均値に関する推定と検定、母相関係数に関する推定と検定	
7	検定(1)	検定の論理と手順			
8	検定(2)	母平均値の検定、母比率の検定			
9	検定(3)	母平均値の差の検定			
10	相関と関連(1)	量的データ間の関係、相関係数と相関係数の検定		相関と回帰	
11	相関と関連(2)	質的データ間の関連、クロス集計とカイ2乗検定		クロス集計と関連の指標	
12	相関と関連(3)	質的データと量的データの関係、順位相関係数			
13	検定(4)	一元配置分散分析、ノンパラメトリック検定			
14	演習				
15	試験				
16	保健統計とその見方	パソコンを用いて推測統計、及び統計調査の方法を学習し、実際に統計処理を行う		コンピュータとソフトウェア、ネットワークとインターネット、データの電子化、個人情報の秘密保持、データベース、レコードリンケージ	
27				全てを包含	
28	まとめ(1)	保健統計演習のまとめ、人口統計の概要		国勢調査、人口動態調査、国民生活基礎調査、患者調査、医療施設調査、学校保健統計、感染症発生動向調査、食中毒統計、国民健康・栄養調査	
29	まとめ(2)	保健統計演習のまとめ、保健統計資料の概要(1)			
30	まとめ(3)	保健統計演習のまとめ、保健統計資料の概要(2)			
テキスト					
参考書					

授 業 科 目 名		保 健 福 祉 行 政 論	単 位 認 定 者	大 野 絢 子	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 ( コ マ 数 )		2 単 位 ( 3 0 コ マ )	必 修	講 義 室	3 0 2 講 義 室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1 2	行政と保健行政1 行政と保健行政2	(1)保健行政とは (2)保健行政と公衆衛生 (3)健康政策の時代		日本における保健医療福祉行政の概要、国と地方公共団体の行政のしくみ、地方自治と地方分権、情報公開と個人情報保護、公務員と保健師活動	
3 4	保健行政の沿革1 保健行政の沿革2	わが国における保健行政の沿革		母子保健法、成人病対策と集団検診、難病対策のはじまり、予防接種の充実、国民皆保険、公害対策のはじまり	
5	保健行政の現状	わが国における保健行政の現状		国民健康づくり対策の展開、生活習慣病予防の概念、老人医療と高齢者保健福祉戦略、市町村の役割重視と福祉政策、精神障害者の社会復帰、新しい感染症対策、医療法改正、地方分権と地域保健法、障害者基本法、訪問看護制度と介護保険法、健康増進法と健康日本 21、一般衛生行政(厚生労働省)、社会保険、産業保健行政(厚生労働省)、環境保全行政(環境省)、学校保健行政(文部科学省)	
6	財政	(1)国の財政の仕組み (2)地方財政の仕組み (3)国と地方公共団体の関係		国と地方公共団体の財政のしくみ、予算の機能と原則、社会保障の給付と財源、国民負担	
7 8	保健予防1 保健予防2	地域における保健予防活動		保健医療福祉の連携と提供サービスの統合、地域ケアコーディネーションと地域支援、組織育成と地域内関係機関の組織化 基本構想、行政計画、老人保健福祉計画、母子保健計画、介護保険事業計画、地域福祉計画と地域福祉活動計画、障害者計画、健康日本 21、健やか親子 21と地方計画、都道府県医療計画と地域保健医療計画、計画決定のプロセス、審議会等の役割、情報公開・アカウンタビリティ、政策の計画化と管理および評価の推進体制、公衆衛生診断、地域診断、計画目標値、評価指標値の設定、政策評価、経済的評価	
9 ~ 10	保助看法・地域保健法			地域保健法と地方自治、市町村と都道府県の役割分担と体制整備、保健所の役割と機能強化、政令指定都市保健所制度の推進、市町村保健センターの役割、地域内の関係機関の種類と役割	
11	医療	医療対策の概要、医療提供体制、医療の財政		医療法、医療従事者と医療提供体制の現状、救急医療体制、訪問看護制度、保険診療体制のしくみ	

回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準	
12	薬事	薬事行政の概要、医薬品・医療用具の安全対策、血液事業、薬事監視、麻薬・覚醒剤等の対策	<p>環境保全行政</p> <p>社会事業としての国の政策、富国強兵と国民体力増強運動、戦後の公衆衛生政策の基盤形成、国民健康づくり対策の展開、生活習慣病予防の概念、老人医療と高齢者保健福祉戦略、市町村の役割重視と福祉政策、精神障害者の社会復帰、新しい感染症対策、医療法改正、地方分権と地域保健法、障害者基本法、訪問看護制度と介護保険法、健康増進法と健康日本 21</p> <p>一般衛生行政、社会保険、産業保健行政、環境保全行政、学校保健行政、社会福祉の基本的概要、地域福祉計画とコミュニティ、地域福祉権利擁護、成年後見制度、法体系、市町村の役割、居宅サービス事業者、居宅介護支援事業者とケアマネジメント</p>	
13	生活現場	食品保健、環境衛生、建築物衛生、家庭用品の安全		
14	環境保全			
15	試験	環境行政の概要、自然環境保全、公害対策、環境と健康被害、放射線		
16 ~ 17	社会保障・社会福祉の理念と歴史			
18 ~ 19	社会保障・社会福祉の法体系と行政 1			
20	社会保障・社会福祉の法体系と行政 2	所得保障、医療保障		
21	社会保障・社会福祉の法体系と行政 3	"		
22	社会保障・社会福祉の法体系と行政 4	生活保護制度		
23	社会保障・社会福祉の法体系と行政 5	児童福祉		
24	社会保障・社会福祉の法体系と行政 6	障害者(児)の社会福祉		
25	社会保障・社会福祉の法体系と行政 7	家庭福祉		
26	社会保障・社会福祉の法体系と行政 8	高齢者の社会福祉		
27	社会福祉の諸方法 1			
28	社会福祉の諸方法 2	社会福祉実践の基本問題		
29	社会福祉の諸方法 3	ケースワーク		
30	社会福祉の諸方法 4	グループワーク		
	社会福祉実践の機関と専門職 1	コミュニティーワーク		
	社会福祉実践の機関と専門職 2			
テキスト		「最新保健学講座 6 保健医療福祉行政論」野村陽子編（メヂカルフレンド社）		
参考書				

授 業 科 目 名		地 域 看 護 学 研 究	単 位 認 定 者	梅 林 奎 子	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年	
単 位 ( コ マ 数 )		2 単 位 ( 3 0 コ マ )	必 修	講義室	302 講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
1 ~ 7	ガイダンス  研究とは 統計調査とは  調査方法  データの整理	<p>研究時間 60 時間の概要をガイダンスする 各自の研究の分野についての希望を調査する 研究テーマの決定から論文提出までは既習学習であるが、確認する 研究計画書作成について 地域看護活動においては、地区診断や地域の健康問題を特定するための調査を実施し、統計的解析が求められると同時に必要となる したがって、社会調査法の概要を理解し、地域看護に適用かつ応用できるように社会調査について概説する 社会調査、調査研究とは 地域看護への適用 調査研究の方法(統計的調査と事例研究法) 調査票と質問紙 調査項目と質問 調査票の構成(質問紙の作成) 集計計画 調査の方法(自記式・他記式)(集合調査・留め置き・面接等) 測定尺度 データのまとめ方 データの分析(疫学・保健統計の知識を適用)</p>		<p>疫学調査における倫理、 個人情報の秘密保持 生態学的調査、横断的調査、 症例対象調査、既往コホート調査、 前向きコホート調査 選択の偏り、情報の偏り、 交絡、無作為化(割付)、 制限、マッチング、層化、 標準化 母集団と標本、無作為抽出、 正規分布、検定・推定に用いる分布、 平均値と他の代表値、四分位数とパーセンタイル、 データの範囲、分散と標準偏差、 相関と回帰、クロス集計と関連の指標、 度数分布、ヒストグラムと他のグラフ表示、 相関図(散布図)と回帰直線、 点推定と区間推定、帰無仮説と統計学的有意性、 母割合に関する推定と検定、 母平均値に関する推定と検定、 コンピュータとソフトウェア、 ネットワークとインターネット、 データの電子化、データベース</p>	
8 ~ 30	論文作成 演習  報告会 論文提出	<p>論文の構成、文献 抄録の作成 グループ編成し実施する(5~6グループ) 成果を発表する 授業時間のみでは完成しないので、自己の時間を活用して論文をまとめる 別途指示する 別途指示する</p>			
テキスト		「最新保健学講座 1 地域看護学総論」金川克子編(メヂカルフレンド社)			
参考書					

授 業 科 目 名	地 域 看 護 学 実 習	単 位 認 定 者	矢 島 正 栄
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	通 年
単 位 ( コ マ 数 )	3 単 位	必 修	講義室 -
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
		<p>1. 目的 市町村・保健所にける地域看護活動の展開方法と市町村・保健所保健師の役割を学ぶ。</p> <p>2. 方法 1) 家庭訪問実習 実習場所: 高山村 実習内容: 受け持ち事例への家庭訪問による継続援助をとおして、個別援助の展開方法と個別援助活動から地域の健康問題を把握する視点を学ぶ。 実習期間: 4月～5月 学内実習 6月～7月 家庭訪問の実施</p> <p>2) 市町村(保健センター)・保健福祉事務所実習 実習場所: 市町村保健センター、保健福祉事務所 実習内容: 実習施設における地域保健活動の実際と、そこに勤務する保健師の活動をとおして地域看護活動の展開方法と保健師の役割を学ぶ。 実習期間: 9月～10月</p>	
	テキスト		
	参考書		



授 業 科 目 名	地 域 看 護 学 実 習	単 位 認 定 者	小 林 亜 由 美
対 象 学 生	地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	後 期
単 位 ( コ マ 数 )	1 単 位	必 修	講義室 -
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
		<p>1. 目的 在宅ケアに関わる援助技術、在宅療養を支える地域ケアシステムとそれに関わる専門職の役割を学ぶ。</p> <p>2. 方法 実習場所:在宅介護支援センター 実習内容:地域における在宅介護支援センターの機能と関係職種の活動の実際をとおして、在宅療養を支える地域ケアシステムとそれに関わる専門職の役割を学ぶ。 実習期間:9月～10月</p>	
	テキスト		
	参考書		

授 業 科 目 名		国 際 保 健 活 動 論 実 習	単 位 認 定 者	矢 嶋 和 江	
対 象 学 生		地 域 看 護 学 専 攻 科	学 期	後 期	
単 位 ( コ マ 数 )		1 単 位	選 択	講 義 室	-
回	講 義 題 目	教 科 内 容		国 家 試 験 出 題 基 準	
	目的	開発途上国における保健プロジェクト活動を通して、看護の国際協力における役割を理解し、国際協力活動への基礎作りに役立たせる。		国際協力 開発途上国、国際機関 N G O	
	目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 開発途上国の保健医療の現状が理解できる。</li> <li>2 . 保健プロジェクト活動を通して、国際協力に求められる看護職の役割が理解できる。</li> <li>3 . 国際協力に関わる国際機関やN G Oの役割について理解できる。</li> <li>4 . 異文化間コミュニケーションを通して、文化理解の必要性が理解できる。</li> </ol>			
	方法	<p>アジアでの保健医療協力を実施している特定非営利活動団体( N P O )の活動に短期研修生として参加する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 事前学習 国際保健活動論を履修している事を必須要件としている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問予定国の歴史・文化〔生活習慣など〕・経済などの理解</li> <li>・ 保健医療従事者を含めた教育システム</li> <li>・ 保健概要</li> <li>・ その他</li> </ul> </li> <li>2 . 主催者のオリエンテーション参加</li> </ol> <p>研修予定 7月下旬～8月下旬(10日間) 対象国：タイ、カンボジア</p>		ボランティア、N P O	
テキスト					
参考書					